

編集室

人生いろいろ、中大生もいろいろですね。じつに多彩な活躍ぶり。

若者の紅涙をしばった（表現が旧世的？）らしい、テレビドラマ「ブライド」にはスケート部が出演。「ひとりで聞くのはもったいないから」と女性記者2人が取材しました。そして、キムタクを語る香川泰大主将にも中大チームの「ブライド」を見た……詳しくは本文を。

「女子学生囲碁日本一」の高倉裕さんは、ひととき笑顔が印象的。「五日並べ」しか知らない1年生記者に、碁盤を広げて笑顔で解説も。滝沢君

Hakumon

Chuo
ちゅうおう

2004

夏季号

2004年(平成16年)7月1日発行 No.187

発行 中央大学広報委員会

〒192-0393

東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

広報課 ☎0426-74-2146

印刷 泰成印刷株式会社

〒130-0026

東京都墨田区両国3-1-12

☎03-3631-8141

は感激しつつ、「いや、囲碁は年寄りの暇つぶし、みたいに思っていたのが恥ずかしい。僕も習おうかな」などと。

過日の「日中国際シンポジウム」で、「日中関係Ⅱ NATO」論に出合いました。すなわち「No Action, Talk Only」の略だとか。「やる気応援奨学金」や国際インターンシップによるおおくの海外体験組をみても、「NATO」の対極、さながら「見る前に跳べ」という感じです。大江健三郎の若い日のメッセージを、フツーにやつてのけている軽快感。昔はなかったなあ、と思いつつながら夏号を編集しました。

(広報課 田中紘太郎)